

かしはら 市議会のいま

第237号

令和8年（2026年）

1月臨時会

1月13日、28日開催

3月定例会

3月2日～27日開催

表紙紹介



檀原市内の小学校の給食時の様子です。本市は令和8年度小学校給食費の完全無償化を決定しました。令和7年の12月定例会にて市議会では、無償化にあたり、給食の質や量を確保するよう求める意見書を国に提出しています。今後も子どもたちに安定して栄養価の高い給食が提供されるようチェックしてまいります。



P.2 / 本会議で審議した内容・結果

P.5 / 委員会レポート

P.7 / 一般質問

P.14 / 役員改選の紹介

P.15 / 意見交換会の公募について

P.16 / ぎかいからのお知らせ

令和 8 年度一般会計当初予算が修正可決

一般会計の予算規模は

5 6 2 億 6、6 0 0 万 2 千 円

(対前年度比 約 9.8%、約 50 億円の増加)

会議の結果

議員提出議案

	議案番号	案件名	議決結果
特別委員会 変更		市庁舎建設事業等に関する特別委員会の名称変更及び付議事件の追加	可決 全会一致
		特別委員会の構成人数の変更	可決 全会一致
条例	議第 2 号	檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決 全会一致

市長提出議案

	議案番号	案件名	議決結果
一般	議第 1 号	工事請負契約の締結	可決 全会一致
予算	議第 3 号	令和 7 年度檀原市一般会計補正予算 (第 7 号)	可決 全会一致
条例	議第 4 号	檀原市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 5 号	檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 6 号	檀原市の常勤の特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 7 号	檀原市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決 全会一致
	議第 8 号	檀原市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 9 号	檀原市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 10 号	檀原市立学校、幼稚園設置条例の一部を改正する条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 11 号	檀原市学校給食共同調理場条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 12 号	檀原市国民健康保険税条例の一部改正	可決 賛成多数
	議第 13 号	檀原市昆虫館整備基金条例の制定	可決 全会一致
	議第 14 号	檀原市昆虫館条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 15 号	檀原市教育・保育の実施に関する条例等の一部改正	可決 全会一致
	議第 16 号	檀原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準を定める条例及び檀原市家庭的保育事業等の運営基準等を定める条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 17 号	檀原市しらかしこども広場条例の制定	可決 全会一致
	議第 18 号	檀原市介護保険条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 19 号	檀原市手数料徴収条例の一部改正	可決 全会一致
	議第 20 号	檀原市道路占用料に関する条例等の一部改正	可決 全会一致
予算	議第 21 号	令和 7 年度檀原市一般会計補正予算 (第 8 号)	可決 全会一致
	議第 22 号	令和 7 年度檀原市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)	可決 全会一致
	議第 23 号	令和 7 年度檀原市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)	可決 全会一致
	議第 24 号	令和 8 年度檀原市一般会計予算	修正可決 賛成多数
	議第 25 号	令和 8 年度檀原市国民健康保険特別会計予算	可決 賛成多数

本会議で審議した内容・結果

もっと詳しく！



議員提出議案



市長提出議案

	議案番号	案件名	議決結果
予算	議第 26 号	令和 8 年度樫原市後期高齢者医療特別会計予算	可決 賛成多数
	議第 27 号	令和 8 年度樫原市介護保険特別会計予算	可決 賛成多数
	議第 28 号	令和 8 年度樫原市共有財産処分特別会計予算	可決 全会一致
	議第 29 号	令和 8 年度樫原市下水道事業会計予算	可決 賛成多数
同意	同意第 1 号	監査委員選任につき同意を求める	同 意
	同意第 2 号	固定資産評価審査委員会の委員選任につき同意を求める	同 意
	同意第 3 号	人権擁護委員の委員候補者の推薦	同 意
承認	承第 1 号	令和 7 年度樫原市一般会計補正予算（第 6 号）に関する専決処分の報告	承 認
報告	報第 1 号	令和 8 年度樫原市土地開発公社事業計画の報告	報 告

賛否の分かれた議案（決議・意見書及び同意案件を除く）

議案 番号	議決 結果	会派・議員名																						
		自由民主党 樫原		自由民主党 藤原		好きやねん樫原 日本維新の会			一心		日本共産党		樫原市政 研究会			公明党				無会派				
		神田 眞美	細川 佳秀	谷井 宰	井ノ上 剛	橋口 和徳	吉田か ずき	森本 えみ	今井 りか	大保由 香子	竹森 衛	西川 正克	石井ひ とあき	井上ま さき	杉井ゆ うすけ	西岡次 郎	坂本正 樹	森前美 和	芳村ひ ろみ	奥田 寛	矢追も と	佐藤太 郎	うすい卓也（議長）	上田くによし
議第 12 号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長の ため議決に 加わって いません。	○	
議第 24 号 【修正案】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○
議第 24 号 【修正案を 除く原案】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
議第 25 号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
議第 26 号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
議第 27 号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
議第 29 号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○賛成 ×反対 一欠席

主 な 討 論（決議・意見書及び同意案件を除く）

議第 12 号 樫原市国民健康保険税条例の一部改正	
反対	国民健康保険税の課税限度額を 1 0 6 万円から 1 0 9 万円に引き上げるものとなっている。安心して医療を受けられる制度にすべきであり、反対する。
日本共産党	
議第 24 号 令和 8 年度樫原市一般会計予算（修正案を除く原案）	
反対	市税の滞納者への督促方法を改めるべきである。また、不要不急の箱物は建てないこと、そして補聴器の購入の補助など、市民に寄り添った予算にすることを提案して、反対する。
日本共産党	
賛成	令和 8 年度の市税収入は増収を見込んでいる。また、「子育てしやすいまち日本一」を目指し、小・中学校の給食費の無償化等の予算を編成。財政調整基金の繰入れを前年度よりも減少させるなど、財政健全化にも取り組んでいる予算編成だと判断し、賛成する。
公明党	

Pick up

議案紹介

議第7号

檀原市職員の給料や手当の見直し

内容

国の制度改正に合わせて、市役所職員の通勤手当やボーナスの支給割合を見直します。働く職員の待遇を整え、より公平な制度にするための改正です。



議第11号

学校給食をつくる施設の対象校を追加

内容

白檀共同調理場で、新たに香久山小学校の給食も調理できるようにします。これにより、効率よく安全で安定した給食提供を目指します。

議第13号

昆虫館を守り育てるための基金を新設

内容

企業から寄附されたお金を活用し、昆虫館の今後の整備に役立てるため、新しく基金（積立金）をつくります。昆虫館を未来へ残していくための取組です。



議員提出議案



議第17号

子育て支援センターを「しらかしこども広場」へ名称変更

内容

白檀にある子育て支援センターを名称変更し「しらかしこども広場」として再スタートします。子どもたちが遊べる場所、保護者が相談できる場所として、よりわかりやすく、使いやすい施設を目指します。



市長提出議案

議第24号

令和8年度 檀原市の一般会計予算案

内容

令和8年度の檀原市の修正前の予算は562億9,000万円です。前の年より50億円以上増えており、子育て・福祉・教育・道路整備など、さまざまな市民サービスに使われます。審議の結果、最終的に562億6,600万2千円で可決されました。



予算特別委員会

議第24号 令和8年度一般会計予算 修正可決

主要な施策

こども園・幼稚園施設の改修

事業費 2億4,030万円

トイレ及び空調設備等の改修を行う。

昆虫館の改修

事業費 6,622万円

開館から約35年が経過することから、電気・機器設備の更新を行う。

榎原運動公園の整備

事業費 2億4,182万円

新体育館及び屋内プールの整備を行うための、地質調査や設計等を進めていく。

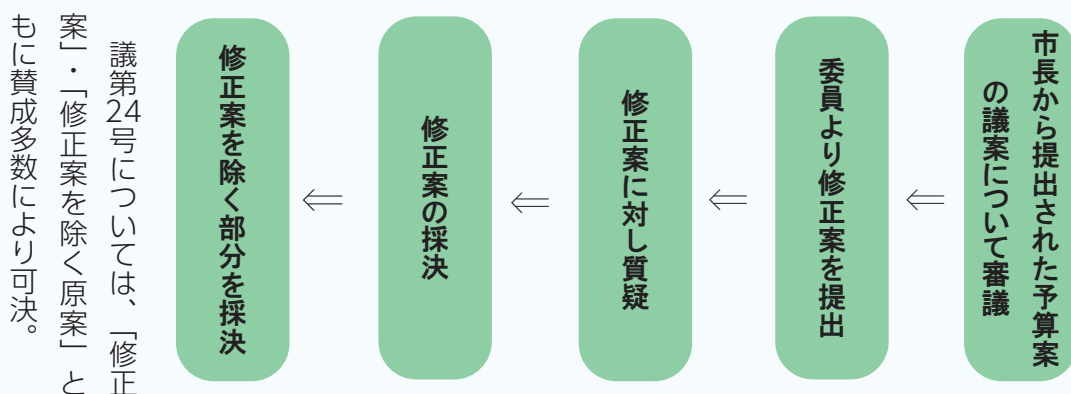
質疑の後、委員より一般会計予算案に対し一部修正案が提出された。

修正理由

令和8年度榎原市一般会計予算において、プロパンガス等の燃料費については、令和6年度に市議会から提出した100条調査特別委員会の報告で、発注先との契約方法は随意契約ではなく、一般競争入札が正しい方法であると結論づけている。その中で今後も随意契約を続けていくことは、議会を軽視している。今後、再度協議し、課題の整理を行った上で、再度燃料費を計上し、提案すべきであると考え、プロパンガス等の燃料費を2分の1(2,399万8千円)減額する修正案を提出する。

また、ブランドデザイン構想策定業務委託料について、委員からの質疑や理事者の答えの中で多くの疑問点や不明点などが出てきた。そのため、今後の予算執行については一旦留保し、議会と協議した上で事業を進めていくこととした。

予算の修正案提出の流れ





会議録



録画映像

建設常任委員会

五井町市有地における企業立地事業の進捗

市の説明

今後の売却までのスケジュールは令和8年度に売却企業をプロポーザル方式で選定し、令和9年度に道路整備工事を実施し、土地の引き渡しを考えている。

問 造成や地下埋設物の撤去は市では行わないとのことだが、土地を購入した企業が費用を負担するのか。

答 本市の財政状況や企業へのヒアリング、要望等を踏まえた結果、必要な部分のみを企業の費用負担で行ってもらうことにした。



総務常任委員会

檀原市地域防災計画の改正

市の説明

今回の改正は、災害に関連する各種法律の改正内容や国・県の防災計画の改正内容を踏まえ、本市のさらなる防災・減災対策を推進するためのもの。

問 計画の中に「最低限の社会経済機能の確保」とあるが、病院などの防災機能の強化のために市が補助などを行うのか。

答 関係機関との連携を図って進めていきたいと考えているが、現状補助はない。



文教常任委員会

第3期檀原市教育大綱の策定

市の説明

第3期檀原市教育大綱は基本理念に基づき11の目標を達成することを目指し、教育政策の6つの基本方針を定めた。

問 社会教育の部分で文化芸術に特化しているように感じるが、他の施策はないのか。

答 子どもから高齢者までの様々な施策を展開している。教育大綱には社会教育に関する記載が少ないが、アフションプランに記載したい。



厚生常任委員会

企業版ふるさと納税を活用した物品寄附

市の説明

観光地などの環境整備をするための事業に対して、外国人とのコミュニケーションツールとして眼鏡型の自動翻訳機能搭載スマートグラス等が寄附された。

問 スマートグラスを使用する者は担当職員だけでなく希望する観光ガイド等にも貸与する予定はあるのか。

答 使用方法が複雑なため、基本的には担当職員が使用するようになるが、観光ガイド等にも講習を行い、使用できるように検討していきたい。



一般質問ってなに？

一般質問とは

一般質問とは、年4回（3月、6月、9月、12月）の定例会が開かれる際に、議員が議案に関係なく、市が行うさまざまな事業の現況や問題点、将来の展望等について、市の考えを質問するものです。答弁は市長や教育長、担当部局長が行います。

質問する議員は、事前に質問事項を通告し、その内容に沿って一般質問を行います。

質問時間

議員1人あたりの一般質問の持ち時間は1時間以内（答弁を含む）としています。

「タイトル」・・・質問する議員が通告した、質問事項。

問・・・議員が市に対して行った質問。

答・・・議員の質問に対する市の答弁。



市営住宅の空き

問 本市における市営住宅の空き状況について教えてください。

答 市営住宅463戸に対して、現在の空き住戸数121戸で、空き家割合は26.1%。改良住宅は、152戸に対して、空き住戸数67戸、空き家割合44%。

問 市営住宅等についての今後の活用方法をどのように考えているか。

答 市営住宅の運営に当たっては、公営住宅法や地方自治法といった法の趣旨を踏まえつつ、さらに既存の入居者や周辺地域の皆様の理解や協力を得ることが大切。今後、先進事例等を参考に、適正な管理に努めてまいりたい。

小学校のクラス替え

問 不登校やいじめが増加している中で、児童が安心して学校生活を送るために、どのような考えでクラス編成を行っているか。

答 具体的には、3つの視点から組織的に取り組んでいる。第1に客観的な数字による編成。第2に個々の状況に応じたきめ細やかな配慮。第3に、クラス編成の組織的なチェック。

問 市の不登校の状況と、国や県などの比較や、不登校の要因原因をどのように分析されているのか。

答 不登校児童生徒数については全国的に年々増加傾向にあり、本市におきましても同様の傾向が見られる。

問 アンケートを行って今後のクラス編成に活用する予定はあるか。

答 一人一人の子どもたちが新しい環境においても大切にされたいと実感し、安心して学校生活をスタートできる環境づくりを各学校が引き続き取り組めるよう、教育委員会としても支援してまいりたい。



橋口 和徳

会派
好きやねん檀原
日本維新の会

録画映像は
こちら





西川 正克

会派

日本共産党

録画映像は
こちら



のるーと檀原ですが号の取組

問 3年間の試験運行最後となった
昨年取組はどうだったか。

答 AIを利用した[※]デマンド型乗り合
いタクシーに変更した。利用者は同
一エリアで昨年度の1.5倍、一昨
年度の5倍の利用者があった。

問 本格運行の期間はどうか。
真菅地域南部への取組、真菅以外の
地域への拡大はどうか。

答 期間は10月から3月までの運行
となる。真菅地域南部及び真菅地区
以外の取組については地域の実情に
合った取組が必要。

補聴器の購入の補助

問 昨年の3月議会で質問したが、
その後検討されたのか。

市長 今後、できるだけ前向きに
早い段階で制度設計をしていきたい。

ふれあい収集の取組

問 どんな内容か。

答 高齢あるいは障がいなどの理
由により、家庭ごみを収集場所まで
排出することが困難な世帯を対象に、
個別にごみを収集するもの。令和7
年度は2月末で198世帯。

問 安否確認の機能は。

答 早期対応の観点から2回連続
で可燃ごみの排出がなければ所定の
連絡先に連絡することとしている。

認知症施策推進基本計画に基づく
檀原市の取組

問 国で認知症基本法が成立し、
計画を立てることが求められている。
本市の取組はどうか。

答 誰もが認知症になりえること
を前提に、新しい認知症観に基づき
施策を推進していく。本市としては
事業期間を令和9年度から令和11年
度の3か年とする第10期介護保険事
業計画と一体的に進めていく。

市長の施政方針を受けて
重点支援地方交付金の活用

問 重点支援地方交付金が各自治
体により下りている。どのように進めよ
うとしているか説明いただきたい。

答 ギフトカードとデジタルポ
イントを併用して市民を支援する
方式を取り、金額は1人当たり7
000円、郵送による配付時期は6
月下旬から7月にかけてとなる。デ
ジタルポイントは、市内登録店での
み利用できる地域ロックを設定し、
檀原市内の店舗等に限定して使用で
きることになる。学校給食費につい
て、小学校は給食費負担軽減交付金
として国と県が負担するため、保護
者負担額は実質月額800円になり、
中学校は全額保護者負担。市として
は保護者負担額に対して、重点支援
地方交付金を活用しつつ、不足分を
市の単独費用で補填し、引き続き市
立小中学校の給食費を完全無償化す
ることを予定している。

檀原文化会館の存続

問 市長の施政方針で、檀原文化
会館の存続について明言が無かつ
た。市長はどのように考えているか。

市長 令和8年1月5日に開催し
たまちづくり協議会において、近鉄
大和八木駅周辺プロジェクトとし
て、奈良県と本市が連携してまち
づくりの検討を進めることになつ
た。大和八木駅は県内有数の交通
あるいは交流の要衝であり、特に
駅北側の再整備は、本市としても
重要な課題であると認識している。
本市としては、これまでから一貫
して、大和八木駅周辺の交通の利
便性の高い位置にある文化ホール
の機能は必要と考えている。今後
の協議において、檀原文化会館や文
化ホール機能の在り方を含め、大
和八木駅北側のあるべきまちの姿
について、本市としての意見を主
張してまいりたい。このスタンス
に変わりはないということを改め
てお伝えしたい。



坂本 正樹

会派

公明党

録画映像は
こちら



指定避難所における環境整備状況及び
市管理のエレベーターの緊急時対応

問 近年、災害の激甚化により避難所生活の長期化が課題となっている。避難所は命と尊厳を守る生活の場である。本市の避難所におけるバリアフリー化やトイレの洋式化、多目的トイレの整備状況、段ボールベッド等の備蓄状況は。

答 避難所44か所のうち、バリアフリー化は約9割、多目的トイレ設置率は約7割である。段ボールベッド等は分散備蓄し、迅速な提供体制の確保に努めている。

問 避難生活では情報確保も重要である。避難所でのフリーWiFi整備や通信確保の取組は。

答 現時点で整備はないが、災害時無料WiFiの活用を含め研究する。

問 衛生環境や精神的負担軽減のため、入浴支援や洗濯環境の確保、民間連携は必要ではないか。

答 入浴施設との協定は未締結であり、今後協議を進める。洗濯環境についても民間事業者との連携を検討する。

問 市有施設のエレベーターでの緊急時の閉じ込め対策として、防災備蓄品の導入検討は。

答 現時点で備蓄はないが、設置可能性や費用対効果を踏まえ検討する。

問 福祉とは、幸せと生活の安定を同時に支える社会の仕組みのことであり、防災施策は、言い換えれば福祉施策でもあるとも言える。市長より、今後の福祉施策ともいえる防災施策に対しての見解をお聞きたい。

市長 避難所環境の向上は市民の生命と生活を守る重要課題である。限られた財源の中で優先順位を見極めつつ、関係機関や民間との連携も図りながら、避難生活の質の向上に努めていく。



石井ひとあき

会派

檀原市政研究会

録画映像は
こちら



公共施設の今後の方針

問 公共施設の今後の方針について、市の考えを問う。財政見直しは。

答 今後30年間で約827億円が必要だが、約335億円の財源不足が見込まれ、全ての更新は困難。計画の実効性は。

問 統廃合等の方向性は示しているが、地域に親しまれてきた施設も多く、合意形成に時間を要する場合が多い。

答 理解が得られなければ判断しないのか。

市長 100%の理解がなくても、説明を尽くした上で判断していく。

問 判断の先送りではないかとの指摘に対しては。

市長 丁寧な説明と判断は両立すべきであり、適切な時期に判断する。

問 統廃合の判断基準はあるのか。

答 利用状況やコスト等を総合的に判断しており、統一的な数値基準はない。

問 基準が不明確なままでは市民

の理解を得にくく、一定の目安の提示が必要と思う。基準設定の考えは。

答 一律の数値による判断は適切でなく、現時点で設定予定はない。

問 各計画の関係は。

答 公共施設等管理計画が基本方針となり、教育施設再配置基本計画や立地適正化計画、その他の計画との整合性を図りながら全庁的に連携している。

問 全体最適を図るためのファシリタマネジメントが重要だが、優先して維持する施設分野はあるか。

答 分野ごとに一律の優先順位は設けず、個別に判断する。

問 市民の意見はどの段階で反映されるのか。

答 一律の制度はなく、施設ごとに状況に応じ、説明や意見聴取を行う。

問 今後の方針決定に対する市長の考えは。

市長 将来に負担を残さないため、必要なタイミングで判断し方向性を示していく。



杉井ゆうすけ

会派

権原市政研究会

録画映像は
こちら



介護保険の認定調査

問 本市において、入院中の方に対する認定調査はどのような考え方で実施されているのか。

答 入院中に申請受付する場合は、治療が終了、またはリハビリがゴールに近づき、退院予定日がおおむね1か月以内であり、退院後の方向性がおおむね決まっていることを確認した上で受付をしている。

問 現場との間で調査の認識に差が生じている可能性もあるのではないのか。

答 病院相談員との間のそこは、医療従事者側と介護保険認定をする側の、介護保険が認定できる状態の捉え方であると考えられる。

問 現在、医療機関と共有している入退院連携マニュアルの中身、内容等について、共有はどのようにされているか。

答 運用の中で生じた課題を把握し、必要時には協議を行い、改定を行うようにしている。

問 認定調査の考え方、マニュアルの内容などについて、関係機関と意見交換を行う場を設けることも必要でないかと考えるが、見解は。

答 本市が主催している在宅医療介護連携会議等に病院相談員さんも出席していただき、コミュニケーションを図り、お互いの職務に対する理解を深め、認識のずれを正していけるように検討していく。

問 市として、高齢者福祉、介護保険制度の持続的で円滑な運用、また、医療と介護の連携などについて、どのような考えで取り組んでいくか。

市長 介護の現場では深刻な人手不足も大きな課題となっていると認識をしている。持続可能な介護保険制度とするために、まずは介護予防への取組をしっかりと行っていきたい。介護サービスを必要とされる市民の方に必要なサービスを提供し続けられるよう、高齢者施策、そして福祉施策にさらに取り組んでまいりたい。



西岡 次郎

会派

公明党

録画映像は
こちら



献血の現状及び推進

問 現状及び推進について。

答 本市の実施回数数は2年間で27回減少しており、それに伴い献血者数も減少している。要因は、民間事業者の構成職員の減少、在宅勤務者が増えたこと等。奈良県全体でも毎年減少傾向にあり、少子・高齢化が大きく影響している。全国的に、若年層の協力及び確保が課題になっており、本市においても協力者確保が今後、重要になると考えている。

問 市ホームページ、公式LINE等で市民に啓発を。

答 献血のホームページを立ち上げ、自発的な行動を促進するために、献血の呼びかけや、市内の献血場所の情報にすぐに確認できるようにしていきたい。

障がい者雇用の現状

問 市役所内の雇用の現状は。

答 法定雇用率の目標である2.64%には届いていないが、2.64%

まで改善している。採用試験は継続して実施しており、積極的な確保に努めている。能力が最大限に発揮できる職場づくりを行っていく。

問 市内企業への障がい者雇用支援の取組は。

答 重要な課題と認識している。企業から相談があった場合には、制度の説明、情報提供、助言、案内など活用につなげる支援体制を行う。助成制度の周知にも努め、障がい者雇用に取り組みやすい職場づくりと、市内企業への支援に努めていく。

問 市長の見解は。

市長 障がいのある方が社会参加を進めるうえで、社会的障壁を取り除く合理的配慮は重要である。一般就労への移行や就労定着に向け、関係機関との連携により、障がい者一人一人に合わせた支援となるよう、きめ細やかな相談体制をはじめ、個々の就労条件に寄り添うことができるよう支援を続けていく。



奥田 寛

会派

無会派

八木駅周辺のグランドデザイン

問 市の心臓部である八木駅前の商業・準商業地域での個別計画は、すべて交通渋滞を増やす要因になっている。少子高齢化、コンパクトシティが進んでもこの地域への車の流入量は減らない。渋滞解消計画が必要では。

答 立地適正化計画により、モータリゼーションに頼らずに、徒歩・自転車と公共交通によって快適に暮らすことのできるまちづくりを目指す必要もあると考えている。道路については、国道・県道の整備状況を踏まえた上で、市が行うべき対策を考えていく必要がある。

問 市役所を例にとると、コンパクトシティで八木駅周辺に集めたほうが、公共交通網が発達しているのだから、公共交通網が充実しているのだから、間違って、その考えが交通渋滞を呼んでいる。道路改良について、国・県だけでなく、市の力で図面を変えていく考え方があ

録画映像は
こちら



立ち退き料等は市役所本庁舎跡地の容積率を活かせば問題にならないという主張をどう思うか。

答 本市ではグランドデザインの策定に取り組んでおり、本市の将来にとって大きな転換点となることが見込まれている30年後の姿を、今から描くことが重要と考えている。庁舎については、これまでの計画を見直し、考える時間をいただきたい。財源については、事業を行う際に、本市に有利な状況になるよう国や県の財源を活用していきたい。

問 檀原文化会館を市に譲ってもらうのはどうか。取り壊しに8億円、土地の評価は10億円で市の損は無い。県は改修費がゼロになる。万葉ホールの大ホール・レセプションホールをやめて改修費35億円を15億円で絞り、県文化会館の改修に20億円回せば可能では。

答 奈良県と本市によるまちづくり協議会の場を設けているが、現時点で、県から譲ってもらうようなことは議論していない。



吉田 かずき

会派

好きやねん檀原
日本維新の会

人口減少対策の取組

問 若年層の転出超過が続いている。本市の人口動向をどう認識しているのか。

答 市の人口はピーク時から約8,000人減少し、特に40代以下の減少が顕著である。高齢化が進む中、子育て世代の減少が大きな課題である。

問 人口減少対策として移住支援金制度の実績はどうか。

答 累計11組22名の移住実績がある。

問 制度が移住の決め手になっているのか。

答 制度が決め手となった方は0件であり、効果は高いとは言えない。

問 それでもニーズに合っていると見えるのか。

答 首都圏からの相談が多く、ニーズには合っていると認識している。

問 国の制度に頼るだけでなく、本市独自の見直しは必要ではないか。

録画映像は
こちら



答 関係人口要件の追加により対象が広がっている。加えて、お試し滞在補助や移住者交流、相談体制の充実など、本市独自の支援を進めている。

問 婚活支援の登録者数や参加実績はどうか。

答 登録者122人、カップリング数も増加している。

問 実際に結婚に至った成果は把握しているのか。

答 これまでに16組の成婚報告がある。

問 民間団体との連携を強化すべきではないか。

答 商工会議所や青年会議所などとの連携は有効であり、今後、結婚サポートとも協議しながら取組を広げていく。

問 移住・結婚支援をどう連携して促進につなげるのか。

市長 各施策を組み合わせ、総合的に人口減少対策を進める。



森本 えみ

会派

好きやねん檀原

日本維新の会

録画映像は
こちら



大和八木駅北側および医大新駅周辺の開発と図書館の今後のあり方

問 大和八木駅北側と医大新駅の街づくりを行う過程で、今後の市民との意見交換の予定は。

答 市民の声を反映していく為、今後も説明や意見交換の機会を設け、地域の理解を得られるよう取り組んでいく。

問 市民の居場所づくりとして、多機能型図書館が有効ではないかと思うがどうか。

答 生涯学習だけではなく、コミュニケーション形成や課題解決、将来の街づくりを支える知的インフラとして可能性もあると考えている。

問 現在の図書館は充実しているが、人口規模に対しては小さすぎる。また、市民の自習スペースのニーズに対し、万葉ホール内にあるスペースだけでは不十分ではないか。ニーズは把握できているか。

答 現在の図書館エリアでの自習スペースの確保は座席数の不足等の課題がある為、難しい。満席に近い日も多く、環境が整った学習場所に対する需要は高いと認識している。

問 中高生の第3の居場所としての観点からも、図書館と自習室が一体となった施設を整備していく考えはあるか。

答 多機能型図書館は、現代の生活様式や学習ニーズに応えるものであり、中高生の多感な思春期特有の孤独感の軽減や心の安定に繋がる重要な役割があると考えている。

問 このような事を総合的に考え教育委員会として、図書館機能などの様に位置づけるのか。

教育長 子ども達の居場所、地域社会のインフラとしてのリビングルームの機能を備える事により現代社会の様々な課題の克服に繋がる。生涯学習の1つの柱としても重要視し、今後の図書館の在り方を街づくりの側面も含めて研究していく。



矢追 もと

会派

無会派

録画映像は
こちら



自習スペース

問 万葉ホールの自習スペースは満席の時も多い。他に自習室もしくは中高生向けのユーススペースの設置を検討してほしい。

市長 直ちには無理だが、スペースを確保できるよう考えていきたい。

不登校児童・生徒・保護者への支援

問 令和6年12月定例会で、保護者に対し、不登校支援を行う民間施設も含めた情報提供を行うことを要望。「積極的に周知する」と回答されたが、行っているか。

答 「虹の広場」に相談あれば伝えられている。一覧の周知は行っていない。

問 前回の回答時から動きが後退している。民間施設のガイドラインを策定し、一覧をHPで公表している自治体もある。一度情報を網羅しガイドラインの策定など公表の方法を具体的に検討するべきだ。

答 ガイドラインを精査して情報を整理し、HPなどで周知したい。

待機児童の解消

問 公立園で待機児童を解消するには保育士が何人くらい必要か。それを満たす採用は行っているか。

答 担任保育士が27名必要。正規職員は採用できているが、任期付職員は計画通り採用できていない。

問 令和5年3月定例会で、任期付の保育士の採用機会の増加を要望した。令和5年以降実施したか。

答 令和5・6年度は機会を増やしたが、令和7年度は増やしていない。1名でも多く採用したい時期のはずだ。採用機会の増加と分かりやすい周知を行ってほしい。また、今後の保育ニーズと少子化の推計をとり、待機児童が深刻な期間に集中した処遇改善や人事制度など、戦略的な取組の実施を。

市長 そのような検証も踏まえながら、保育士確保に努めてまいる。

学校図書館の充実

詳細は録画映像等を参照。



森前 美和

会派

公明党

録画映像は
こちら



食育の推進

問 給食を通じた具体的な食育の取組とその教育効果は。

答 給食の時間は食に関する指導を行う重要な場、生きた教材として食育を推進。毎月19日の食育の日には、テーマを決めた給食を提供。生涯にわたる望ましい食習慣を身につけ、自己管理能力の育成を図っている。

問 令和8年度実施の給食費無償化を、継続的な制度として確立していくお考えなのか。

市長 健康、福祉や教育施設、農業振興とも連携した横断的な取組を進める。学校給食無償化の継続を考えているが、年間約5億4千万円の予算が必要。国の交付金約3億円（小学校分）を差し引いても約2億4千万円の市負担が生じ厳しい。今後は国の動向を踏まえ、中学校も含めた無償化の実現に向け、国・県へ強く要望していく。

子ども・若者をはじめとする市民への薬の適正使用

問 市販薬を一度に過剰摂取するオーバードーズが中高生の間で広がりつつある。正しい知識がないまま使われてしまうことが大きなリスクにつながっている。学校現場での医薬品の正しい使い方や薬物乱用防止への取組は。

答 全ての小中学校で薬物乱用防止教室を実施し、市販薬の正しい使い方や過剰摂取の危険性について重点的に指導している。

問 関係機関が連携し、市民全体に情報提供を行っていく必要があるが、今後の啓発は。

答 相談内容に応じて、専門的な窓口に取り次いでいる。県においては薬務・衛生課が薬物乱用防止に関する事を所管しており、県の専用ページを市関連のホームページにもリンクを張るなど啓発活動に努める。



芳村 ひろみ

会派

公明党

録画映像は
こちら



子ども110番の家の実効性向上

問 子ども110番の家は、子どもが危険を感じた際に駆け込み、保護や通報につながる重要な仕組みであり、地域ぐるみで子どもを見守る取組。本市における登録数や配置状況を市として把握しているのか。また、更新確認や協力家庭の意思確認、表示プレートの管理体制について、現状と今後の在り方を問う。あわせて、いざという時に確実に機能する体制づくりをどう進めていくか。

答 各学校区で地域やPTAと連携し運用しており、市として一元的に把握する仕組みには至っていない。設置場所を把握している学校では、PTAを中心に意思確認やプレートの点検・交換を実施。通学路マップの作成や下校指導での周知も行っている。好事例の共有を進めるとともに、輪を広げるよう働きかける。今後も学校や地域と連携し、周知の充実に努める。

若者の定住促進に向けた奨学金返還支援制度

問 奨学金の多くは貸与型であり、就職後も長期間にわたり返還が続くため、若者の生活や将来設計に影響を与えている。本市の認識と制度導入の考えについて、今後の取組の方向性と、若者の経済的負担の軽減に向けた施策の重要性を問う。

答 返還は住宅費や生活費と重なり家計に影響し、就職や居住、結婚などにも関わる可能性があると認識している。県内でも制度導入が進んでおり、本市も他自治体の取組や効果を踏まえ検討する。制度設計や財政負担、効果の検証などについても慎重に検討する必要がある。奨学金返還支援は若者の経済的負担の軽減や定住促進につながる重要な施策である。一方で財政負担や制度の持続性の課題もあることから、本市の実情に応じた在り方について総合的に検討していく。

新役員決定

3月定例会では、議長・副議長の選挙、監査委員の選任、各常任委員会・特別委員会・議会運営委員会の委員の選任、委員長・副委員長の互選を行いました。任期は1年間となります。新たな体制で円滑な議会運営に邁進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

議長

うすい 卓也

副議長

神田 眞美

監査委員

今井 りか

常任委員会

総務



文教



所管事務

厚生



建設



特別委員会

下記の特別委員会の委員構成は、右記の QR コードから橿原市議会役員名簿をご覧ください。



役員名簿

議会改革特別委員会

市庁舎建設及び八木駅周辺整備事業等に関する特別委員会

県立医科大学・附属病院を核としたまちづくり事業等に関する特別委員会

市スポーツ施設の活用及び整備等に関する特別委員会

世界遺産登録に関する特別委員会

各種団体との意見交換会を募集します

～榎原市議会と意見交換をしませんか～

榎原市議会では、市内で活動する各種団体の方々と意見交換会を本年度も行います。団体の専門性や知見を活かしたテーマや分野の中で、建設的な意見交換を行うことを目的としています。

また、市議会に対して知ってほしい現状や課題などを聞かせていただき、解決に向けた提案等に結びつけていきたいと考えています。是非この機会にご応募お待ちしております。



● 申込方法

スマートフォンやパソコンを使って、以下の二次元コードを読み取るか、URLから申込ページにアクセスし、お申し込みいただくか、議会事務局（４７－３５２１）までお問い合わせください。

申込要件等はこちら



● 申込受付期間

令和８年７月１５日まで



◀ 申込ページの二次元コード

▼ こちらの URL から申し込みいただけます。
<https://logoform.jp/f/GgAmK>

私たちが議会広報委員会です！！

こんにちは！私たちは議会広報委員会です。一人でも多くの方に榎原市議会を少しでも身近に感じていただけるよう、言葉や紙面を工夫しながら編集しています。

表紙では、たくさんの笑顔をお届けしたいと思い、委員で撮影に伺っています。「こんな特集を読みたい！」というお声や、ご意見等ございましたら、ぜひお寄せください。



大保由香子

吉田かずき

芳村ひろみ

《アンケートについて》

前号の「かしはら市議会のいま」で実施したアンケートには、たくさんのご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。いただいたご意見は、今後の編集の参考にさせていただきます。誌面の都合ですべてをご紹介することは難しい場合もありますが、できるだけお声を反映できるよう努めてまいります。

議会報告会

第2回議会報告会を開催します！今回は令和8年3月定例会で行った予算審査の報告と報告に対する質疑応答を実施する予定です。

多くの方のご参加をお待ちしております。

日時

令和8年7月18日（土）
10時～（1時間半程度）

※事前の申し込みは必要ありません

会場

すみれホール 4階 シクラメン
（会場：最大50名程度）
橿原市内膳町1丁目2-24



内容

令和8年度 予算審査について

予算とは、市が1年間に使う予定のお金のことです。毎年3月定例会にそのお金について審査しています。今回はその審査結果について報告します。

前回の様子

令和8年1月29日に「第1回議会報告会」を開催いたしました。令和6年度の決算審査の報告を行い、いただいた様々なご意見を今後の議会活動に活かしていきます。



議会の情報をもっと詳しく



ホームページ



インターネット中継



会議録



かしはら市議会のいま
（バックナンバー）